

日本労働年鑑 第26集 1954年版
The Labour Year Book of Japan 1954

第二部 労働運動

第二編 労働組合運動

第七章 主要な労働組合の現状

B 地方連合組織

この場合も総評系の地方組織が最も大きな結集を見せており、前年第二回大会当時、準備会をふくめて三五地方であったのを、第三回大会の時期には四五地方全部の結成をみている。また性格的にも総評指向の地方協議会から、総評地方評議会と明示するに至っている

(総評地方組織)

全北海道労働組合協議会	札幌市南大通町西五ノ一〇 二〇七、六〇〇
秋田県労働組合会議	秋田市根小屋上町 三三、七二一
山形県労働組合評議会	山形市十日町五〇一 一二、〇〇〇
宮城県労働組合評議会	仙台市東四番町 三三、八〇〇
岩手県労働組合総連合	盛岡市六日町一〇九 三四、〇二八
青森県労働組合会議	青森市浜町一一三 一五、二二八
東京地方労働組合評議会	東京都港区三田四国町二ノ六 一八〇、〇〇〇
群馬地方労働組合評議会	前橋市菅町五三 三一、一五〇
千葉県労働組合協議会	千葉市弁天町 四三、二〇〇
栃木県労働組合会議	宇都宮市河原町一一二六 三五、〇〇〇
埼玉県地方労働組合評議会準備会	浦和市北浦和 三八、〇〇〇
神奈川県地方労働組合評議会	横浜市神奈川区桐畑一九 八八、〇〇〇
茨城県労働組合連盟	水戸市藤沢小路三五八 四二、八三三
山梨県労働組合総連合	甲府市穴切町 一九、〇〇六
岐阜県労働組合協議会	岐阜市中新町 四〇、八六一
福井県労働組合評議会	福井市日の出町三六 二〇、八〇〇
新潟県民主労働組合協議会	新潟市下大川前通り 四三、六二〇
石川県労働組合評議会	金沢市勝尾町一 二七、四〇〇
富山県労働組合評議会	富山市神通町一〇四九 五六、〇〇〇
長野県労働組合評議会	長野市南石堂町 二七、六五六
静岡県労働組合評議会	静岡市昭和町二ノ一

愛知県地方労働組合評議会	六〇、〇〇〇 名古屋市昭和区舞鶴町 一一九、八〇四
総評大阪地方評議会	大阪市北区高垣町七〇 一一八、九九〇
滋賀県労働組合協議会	大津市馬場町元町二五二 二八、四四〇
和歌山県地方労働組合評議会	和歌山市真砂町一ノ一 三〇、〇〇〇
三重県地方労働組合協議会	三重県一志郡久居町 二七、五〇〇
奈良県地方労働組合総評議会	奈良市椿井町三七ノ四 一八、〇〇〇
総評京都地方評議会	京都市下京区寺町四条下ル 四三、九八〇
兵庫県労働組合会議	神戸市生田区海岸通三ノ二六 一五〇、〇〇〇
島根県労働組合協議会	松江市殿町八 一八、三五五
広島県労働組合会議	広島市京雑魚場町一八〇 一二〇、〇〇〇
岡山県労働組合会議	岡山市一番町 四三、〇〇〇
鳥取県労働組合協議会	鳥取市東町一 一六、〇〇〇
山口県労働組合評議会	山口市今市 四七、〇〇五
高知県全労働組合評議会	高知市帯屋町九八 二三、七二八
愛媛県労働組合評議会	松山市南江戸町 四七、八二三
香川県労働組合会議	高松市新港町 二〇、四七〇
徳島県労働組合評議会	徳島市寺島本町一丁目 一三、〇〇〇
佐賀県労働組合協議会	佐賀市松原町六九 三五、〇〇〇
鹿児島県地方労働組合評議会	鹿児島市山下町 三七、四〇〇
大分県労働組合評議会	大分市西町一〇八八 二七、一九四
福岡県労働組合総評議会	福岡市天神町天満ビル十一号 一六八、〇九〇
熊本県労働組合総評議会	熊本市春日町 四一、二八五
宮崎県労働組合協議会	宮崎市本町二七 三七、六七二
長崎県労働組合会議	長崎市榎津町六六 五八、〇九五
九州労働組合会議	福岡市天神町天満ビル

このほかの全国組合連合体でも傘下の地方組織が部分的に組織されているが、各県各地方ごとには中立系の多くの地方組織が散在している。また地方共闘組織も多く、なかには半永久化しているものもあり、産業別全国組合の地方組織も相当の数に上っている。

日本労働年鑑 第26集 1954年版

発行 1953年11月20日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

****年**月**日公開開始

